

# 子育て・子育て 支援情報 15

問合せ先 市役所こども育成グループ  
☎52-1111 (内線362)

Eメール

ikusei@city.takahama.lg.jp



『GOGOはま  
キッズが行く』

毎月1日号でお知らせします。

現在、市内で子育て支援を行  
なっているスタッフが集り、月  
に1度『GOGOはまキッズが  
行く』を開催しています。  
スペース遊び(部屋を区切っ  
たりして、いくつかの遊びを美  
施)を基本としていて、1回で  
いろいろな遊びが体験できるよ  
うに工夫しています。

これまでには、旧高浜北部幼  
稚園リズム室(いちごプラザと  
なり)で、床に貼った大きな紙  
に絵を描いたり、折り紙でコマ  
を作ったり、空き箱でロボット  
を作ったりしています。  
毎回、大変にぎやかな雰囲気  
で実施しています。ぜひ、遊び  
にきてください。  
とき 7月11日(火) 午前10時30  
分~11時30分

**会場** 高浜南部保育園子育て支  
援センター  
**内容** 水遊び ほか  
※水遊びが出来る格好を用意し  
てください。  
※駐車場に限りがありますので  
乗り合わせてお越しください。  
**今月の手づくりメニュー**  
保育園で子どもたちが食べて  
いる給食やおやつ作り方の一

部をご紹介します。家庭でも簡  
単にできます。ぜひ、お子さん  
と一緒に作ってみてください。  
**◆まぐろのレモン醤油和え  
(6月実施)**  
**材料(1人分)**  
まぐろ40g(しょうゆ2g、酒  
2g、おろし生姜1g)  
片栗粉 適量、揚げ油 適量  
タレ(しょうゆ2g、砂糖1.5g、  
レモン汁0.5g)

**作り方**  
①まぐろを角切りにし、しょう  
ゆ、酒、おろし生姜に漬ける。  
②まぐろに片栗粉をまぶし、油  
で揚げる。  
③タレの材料を合わせて、揚げ  
たまぐろにからめる。  
**栄養士から一言**  
レモンの風味がさわやかで、暑  
い日にも食べやすい魚料理です。

## コラム たかはま子ども市民憲章

リレーで、たかはま子ども市  
民憲章に関するコラムを連載し  
ています。今回は、高浜南部保  
育園匿名希望さんです。

### 『おとなもね…』 アンケートより

『話を聴く』と『これほど大切  
で難しい』ことはないと思う  
います。一般的には、強い者が弱  
い者の話を聴く、大人が子ども  
の話を聴くということであるの  
に、私も含め「世の親のしているこ  
とは逆だな。」そんなふうに感じま  
す。

親である私たちが時間の余裕が  
なかったり、気持ちの余裕がな  
かったりすると、私たちは弱い子  
どもへ八つ当たりをしてしまいがち  
です。八つ当たりは言葉だけでは

なく、冷たい視線を送ったり、子  
どもが話しかけてきても無視し  
たり、話も聴かずに趣味に没頭し  
たり、テレビを見たり…。子どもの  
思いはいつか誰か聴くのだらう  
かと、考えることがあります。や  
はり、身近にいる私たちが耳を傾  
けてやることで、子どもは安心し  
話をしてくれるのではないでしょ  
うか。

『聴く』ってどういう意味なん  
だろうかと考えさせられることが  
ありますが、例えば「学校の宿題  
やったの?」「これも聞くこと  
でいいの?」これらは親の興  
味の低いことだから上の空。世間  
の情報を知りたくて、子どもに  
「○○ちゃんは今、どんな習いご  
とをしているの?あなたも、もうそ  
ろそろ習いごとをはじめなさい。」

といった調子には聞くと、とりあ  
えず子どもの話は聞けけれど、子  
どもの気持ちを理解せず、「それは  
あなたの行動が悪いから嫌われて  
も当然でしょ。」っていうのもあ  
ると思いますし、子どもに「△△  
を買って!」「あれも欲しい、こ  
れも欲しい。」と、単にわがまま  
を聞き入れて買いつけてしまっ  
たりすることもある。

本当に子どもの話を聴く、とい  
うのは子どもの気持ちに寄り添い、  
じっくりと最後まで話を聴き、子  
どもが「話をしてくれてありがとう  
。」という満足感が得られたとき  
に、初めて話を聴いたことになる  
のではないかと私は思います。  
私たちは子どもに対して「話を  
最後までじっくり聴く。」この一  
番大切なことをおろそかにしてい  
るのではないのかと考えます。

と、親や大人に対して「何で理  
由を聴いてくれないの?」「どう  
して話を聴いてくれないの?」「  
何で頭ごなしに叱るの?」とい  
った思い出がありませんか。  
子どもに対してどんな接し方を  
すればよいのか。また、どうすれ  
ば気持ちを通じ合う親子関係を築  
けるのかを考え直すよききっかけ  
になるのではないのでしょうか。

**コラムへの投稿募集**  
このコーナーに投稿したい人  
は、こども育成グループまで原  
稿をお送りください。  
原稿は、可能な限りワードな  
どのパソコン用ワープロソフト  
で作成した文書で提出してくだ  
さい。テキスト形式でも構いま  
せん。  
書式は問いませんが、概ね40  
字前後で執筆し、簡単なみだし  
をつけてください。